

保護者の皆様へ

大阪府立西浦支援学校

## 令和2年度 学校教育自己診断アンケートについて（報告）

### 【回収率について】

本調査は、令和2年11月2日（月）から11月13日（金）の期間に実施し、保護者からの回収率はおよそ60%で、前年度比4%増でした。今年度は回収率がやや回復傾向にありますが、質問項目について「わかりにくい」というご意見もいただいておりますので、今後改善しながら経年変化の調査を行っていきたいと思います。

### 【意見の分布について】（※パーセンテージは小数点以下四捨五入で記しています）

保護者アンケートについて「肯定的意見（Aよくあてはまる Bややあてはまる）」、「否定的意見（Cあまりあてはまらない Dまったくあてはまらない）」、「分からない」で分析しました。

①全項目における「肯定的意見」の割合が前年比で上昇したものは全27問中9でした。

全項目の内、肯定的意見の割合が70%以上の設問は全27問中21で、全体の約78%でした。さらに90%以上の設問は9つでした。特にクラブ活動とホームページに関する設問に対して大幅な改善が見られました。

②全項目で「否定的意見」の割合が前年比で上昇したものは全27問中8でしたが、上昇率は最大で2ポイントと著しく増加したものはありませんでした。

全項目における否定的意見の割合が30%以上の設問は全27問中0でした。

昨年最も否定的意見の割合が高かったのは、「6 担任の先生以外にも、保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」で否定的意見の割合が26%で唯一の20%台でしたが、今年度もほぼ変化はありませんでした。

③全項目で「分からない」という意見の割合が30%を越えた設問は全設問27中6つで、前年と比べると「2子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている」「8学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている」「3学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている」の3つの質問で増加しました。

「8」「3」については、新型コロナウイルスの影響により教育活動に制限が出た為であると推測されますが、「2」は質問文の「～といっている」の表現から、家庭で

子どもから直接言葉で聞き取れない場合などに、回答が難しかったと思われる為、今後より回答し

やすいよう文章について改善・工夫に努めたいと思います。

以下、質問項目ごとにまとめました。

### 「必須項目について」

大阪府より各学校に「必ず聞くべき質問」として9つ示されており、昨年は内5つについて80%以上の肯定的評価でしたが、今年度はホームページに関する質問についても改善され、合計6つについて80%以上の肯定的評価となりました。

「5学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」では肯定的意見の割合が、前年度比5%減の63%で必須項目中では低めでしたが、記述回答や別で実施した「いじめアンケート」においても特筆すべき事案はなく、設問の特性上「いじめについて困っていることがあれば」という限定的条件下についての回答となるため、「わからない」の回答数が40%であると推察されます。

### 「教育活動に関する項目について」

保護者のアンケートで昨年度比10ポイントの改善が見られたものは、「10 子どもたちは、積極的に部活動に参加している。」で肯定的意見の割合が70%になりました。今後も、活動の様子がわかりやすいように学校ホームページなどを活用して情報発信に努めたいと思います。

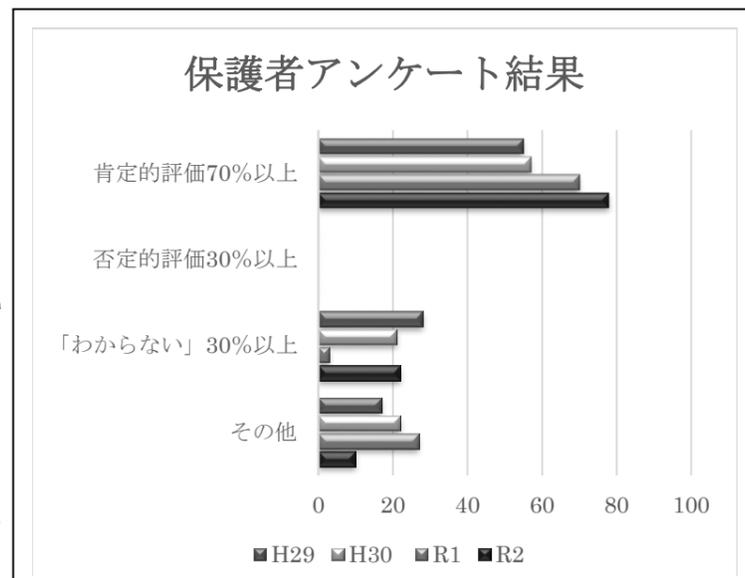
### 「学校運営に関する項目について」

今年度、保護者アンケートで最も肯定的意見の割合が増えたのは本項目の「1学校はホームページなどの活用も含め、教育情報について提供の努力をしている」で前年度比15ポイント増の83%でした。「わかeraない」の回答については11ポイント改善の9%でした。この改善の要因については、今年度様々な場面で、保護者へ情報ツールを活用し情報の提供を行う機会が多かった為だと思われます。

### 「全体考察」

全体の傾向として、保護者アンケートの肯定的意見の割合が70%を超えたものが、前年度は全体の7割、今年度については約8割と高めで推移しています。また、昨年度は軒並みダウンしていた教職員の評価についても、今年度は全55問中33問について肯定的意見の割合が増加し、否定的意見の割合においては32問について改善が見られました。また、保護者と教職員で対になっている設問について比べてみた場合、多くの設問について保護者と教職員の意見の傾向が似通っていましたが、「子ども・保護者の支援に関する項目」の相談体制については、保護者の肯定的意見の割合が40%を下回っている一方、教職員の肯定的意見の割合が70%を上回りました。また、「教育活動に関する項目」の授業については、保護者の肯定的意見の割合が62%に対して、教職員の肯定的意見の割合が87%と開きがありました。これら相談体制や授業について、今後よりわかりやすく保護者・児童生徒に提示すると共に、双方が納得できる教育環境の整備と充実に努めたいと思います。また、「学校運営に関する項目」のマトリクスについては、保護者の肯定的意見の割合が76%に対して、教職員の肯定的意見の割合が51%でした。今後活用方法や活用場面について教職員の意見を聞きながら、より保護者の皆様にもわかりやすい教育ツールとして改善していきたいと思います。

裏面に続く→



## 【記述回答について（要旨）】

### ○授業や指導に関すること

- ・読み書きや情報処理に関する学習の充実
- ・さらなる授業改善
- ・進路指導の充実
- ・コロナ渦でのマスクやマナーの指導
- ・児童生徒数の増加に伴う教育の質の低下についての懸念
- ・教員が足りているか心配
- ・個々の児童生徒に対応できるよう研修や勉強会をしてほしい

### ○通学バスに関すること

- ・添乗員の障がい理解
- ・添乗員の人数を増やしてほしい

### ○学校行事について

- ・時程や児童生徒の動きなど詳しく知らせてほしい

### ○その他

- ・講演会などの案内が欲しい
- ・欠席連絡をメールでできるようにしてほしい
- ・電話回線を増やしてほしい
- ・子どもの障がい特性や様々な情報について教職員間でもっと密に連携してほしい
- ・各種相談窓口の明示と担任以外の相談場所を増やしてほしい
- ・ホームページなどで学習活動の様子についてもっと知らせてほしい

## 学校運営協議会より

### 【委員より】

○回収率と回答傾向について保護者だけでなく教職員もグラフ化できればなおわかりやすい。

○保護者の否定的評価 30%以上のものが、4年連続0ということでよい結果ではあるが、20%以上の項目についてのグラフ化も検討してほしい。

\* 例年自己診断の報告を行っている第3回の学校運営協議会が感染拡大防止のため書面での開会となりました。